

# アルミフェンスAFHC1型

取 付 け 確 認 シ ー ト

フ リ ー ポ ー ル 型



**施 工 前 の ご 注 意**

フェンスは隣地境界を目的にするものです。  
フェンス以外 (防護柵や手すりなど) への転用および改造は行わないでください。がけ上や高台など、転落したらケガをする恐れのある場所にはフェンスを使用しないでください。

| フェンスの構成部品       |                                                    |                                              |    |
|-----------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------|----|
| *セット商品ではございません。 |                                                    |                                              |    |
| 名称              | 用途                                                 | 入り数                                          | 画像 |
| フェンス本体          | フェンスのパネル部分になります。                                   | 1                                            |    |
|                 | T-6サイズ…(1971.5mm×540mm)<br>T-8サイズ…(1971.5mm×720mm) |                                              |    |
| 柱               | フェンス本体を設置するときに必要な<br>なります。                         | 1                                            |    |
|                 | T-6サイズ・T-8サイズ                                      |                                              |    |
| コーナー継手          | フェンスを曲がり角に設置するとき<br>必要となります。                       | コーナー継手 2個                                    |    |
|                 |                                                    | φ4×10トラス<br>タッピングネジ1種D=8…4本                  |    |
| 端部キャップ          | フェンス本体の端部を塞ぐキャップに<br>なります。                         | 端部キャップ 4個                                    |    |
|                 |                                                    | φ4×10トラス<br>タッピングネジ1種D=8…4本                  |    |
| 部品セット           | 上部ブラケットは、柱と本体を接続する<br>ときに必要となります。                  | 上部ブラケット 1個                                   |    |
|                 |                                                    | φ4×20バインド<br>タッピングネジ2種G=5…1本                 |    |
|                 | ストレートジョイントは、フェンス同士を<br>接続するときに必要なとなります。            | ストレートジョイント 2個<br>φ4×10トラス<br>タッピングネジ1種D=8…4本 |    |

- 部 材 の 拾 い 出 し
- 本体の枚数に対して、柱は+1本必要です。(本体3枚の場合は、柱4本)
  - \* フェンスの端部に柱が1本必要のため
  - 部品セットは柱1本につき1セット必要です。(部品セット内容…ストレート継手2個、上部ブラケット、取付ビス)
  - コーナー継手はコーナーの数量分必要です。(コーナー1箇所なら1個)
  - フェンスの始まりと終わりには、エンドキャップが必要です。

施 工 の 流 れ ( 一 例 )

■ 施工不具合防止のため、フェンス施工の際は、  
施工前に必ず、取付説明書をお読みください。

使 用 道 具 ( 一 例 )

- ・ ブロック or フェンスブロック
- ・ バケツ
- ・ モルタル
- ・ 仕上げゴテ
- ・ (冬時期) 無塩防凍剤
- ・ 5φレベル孔に入る差込ピンか釘  
(目安125mm)
- ・ 水平器
- ・ 水糸
- ・ 養生テープなど

① 各支柱の設置・支柱の埋め込み

支柱の深さは、柱先端から165mmのレベル孔を天端の位置に合わせてください。各柱のレベルは水平器等を使用して、必ず水平に揃えてください。

\* 水抜き孔は塞がないでください。  
柱の間隔は芯々1974mmを基準としてください。

② フェンスの取付

フェンス本体の下線を柱の下部ブラケットに引っ掛けます。またフェンス本体の上線と柱を上線ブラケットを使用して、ネジ止めします。

③ コーナー部の接続 (\*必要時)

コーナー部のフェンス本体の接続はコーナー接手を使用します。ビスを止める側を家側にして、ネジ止めをします。

④ フェンスの連結

フェンス本体を連結する際は、ストレートジョイントを使用してネジ止めします。

⑤ 端部キャップの設置

フェンス端に端部キャップを付けます。ビスを止める側を家側にして、ネジ止めをします。

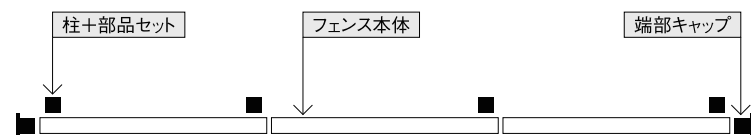
取 付 完 了

- 施 工 上 の ご 注 意
- ・ コーナー部には安全のため、必ず柱を2本施工してください。
  - ・ ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 の区分16 (C種) 以上で施工してください。
  - ・ 本体切り詰め時は、縦横に掛らない位置で上下線を切断してください。加工には切断・孔あけ加工があり危険を伴いますので、専門の工事業者による施工を依頼する事をお勧めします。



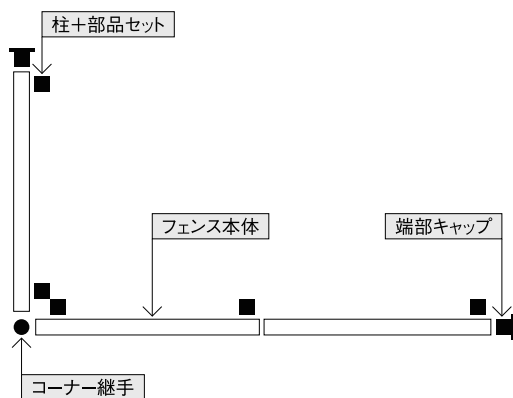
## フェンス 拾い出し例

### 例1 直線 3スパン(約6m) T-6



|              | 数量 |
|--------------|----|
| フェンス本体 T-6   | 3  |
| T-6柱         | 4  |
| 端部キャップ(4個入り) | 1  |
| 部品セット        | 4  |

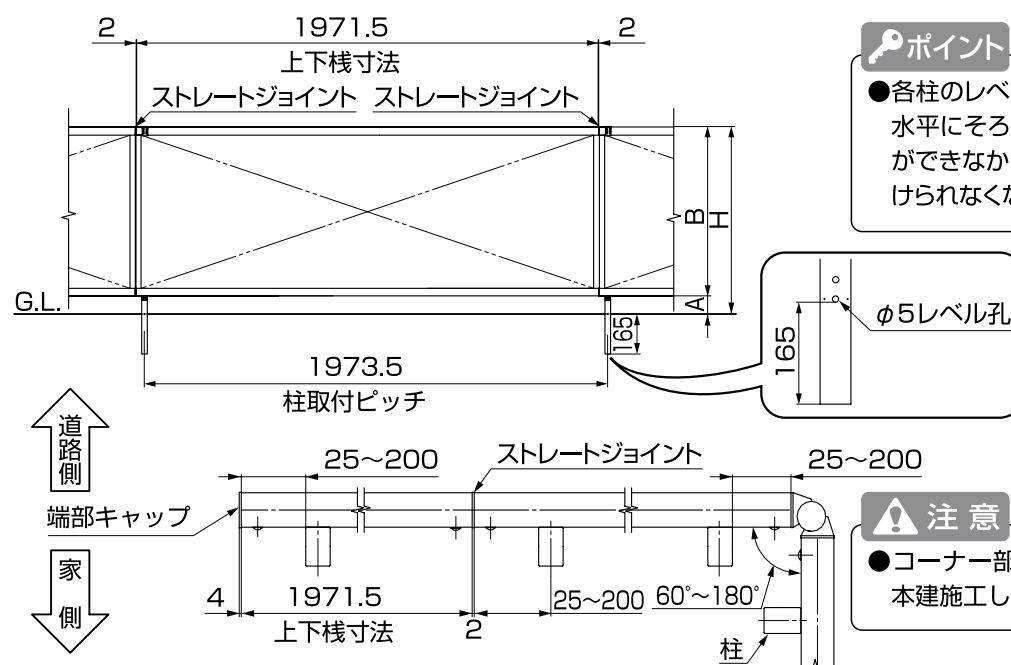
### 例2 直線+直線 コーナー1ヶ所 3スパン(約6m) T-8



|              | 数量 |
|--------------|----|
| フェンス本体 T-8   | 3  |
| T-8柱         | 5  |
| コーナー継手       | 1  |
| 端部キャップ(4個入り) | 1  |
| 部品セット        | 5  |

※本体は、実際の現場の寸法に合わせて切り詰めてご使用ください。  
※コーナー部には安全のため、柱を2本施工してください。

## 基本寸法図



### ポイント

●各柱のレベルは水平にそろえてください。水平にそろっていないとフェンスの連結ができなかったり、上部ブラケットが取付けられなくなる場合があります。

| サイズ | H   | A  | B   |
|-----|-----|----|-----|
| T-6 | 600 | 60 | 540 |
| T-8 | 800 | 80 | 720 |

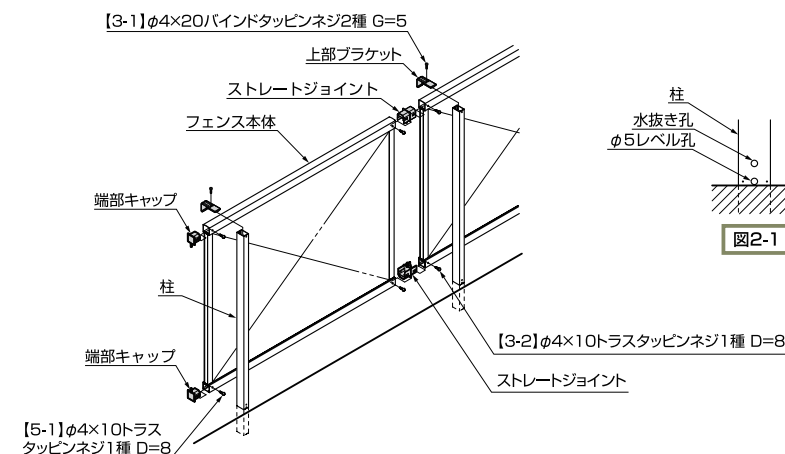
### 注意

●コーナー部には安全のため必ず柱を2本建施工してください。

## 施工ポイント

- ・フェンス本体下部と天端の間隔(基本寸法図A寸法参照)は、T-6サイズの場合は60mm、T-8サイズの場合は80mmの隙間をあけてください。
- ・柱と本体ジョイント部の間隔は、25～200mm以内に施工してください(基本寸法図参照)。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

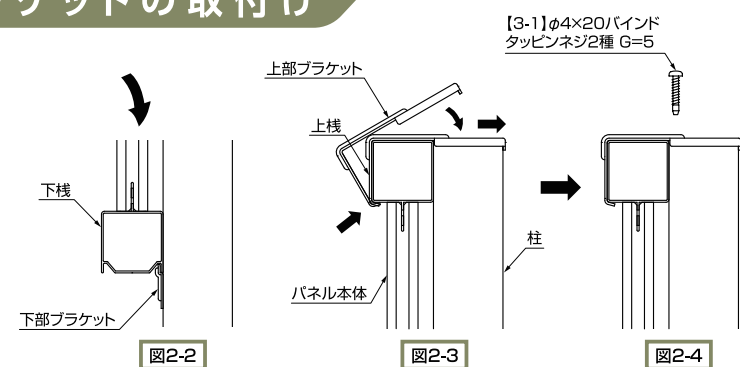
## 本体の取付け



### 施工ポイント

各柱のレベルは、水平器等を使用して、必ず水平に揃えてください。柱の間隔は、芯々1974mmを基準としてください。

## 上部ブラケットの取付け



### 施工ポイント

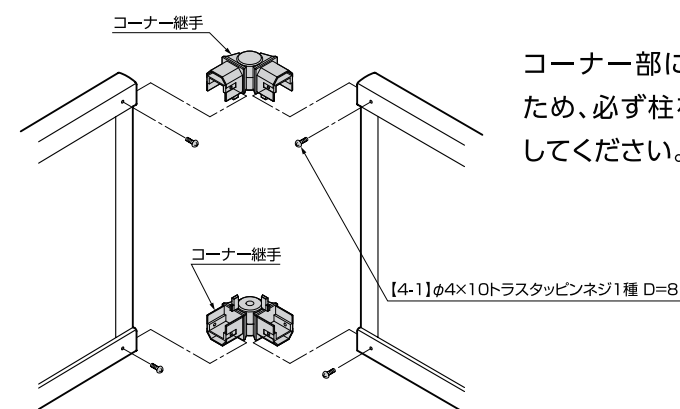
フェンス本体の下線を柱の下部ブラケットに引っ掛け、フェンス本体の上線と柱をブラケットでネジ止めします。

### ポイント

- 柱ピッチは「基本寸法図」の表記にしたがってください。
- 柱内部に入っている発砲スチロールや柱補強材を外さないでください。
- 各柱はレベル孔を参考に水平にそろえて取付けてください。(図2-1参照)
- 柱埋込み時には水抜き孔を塞がないように施工してください。柱の腐食が促進されるだけでなく溜まった水が凍結し、破裂するおそれがあります。
- 柱の内部にモルタルを詰めないでください。

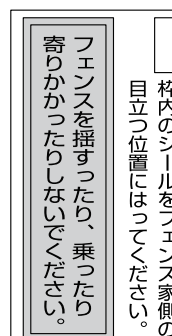
- ①下線は、下部ブラケットに押込んでしっかりと取付けてください。(図2-2参照)
- ②上部ブラケットは上線の端に引っ付けた後、柱側に引きよせて柱にかぶせ、上部ブラケットの止め孔と柱の止め孔をあわせて【3-1】を仮止めしてください。(図2-3参照)
- ③上部ブラケットの矢印の部分を押さえて【3-1】をしっかり締めてください。(図2-4参照)

## コーナー継手の取付け



コーナー部には安全のため、必ず柱を2本施工してください。

## 注意シールの貼付け



必ず注意シールをフェンス本体または柱(家側)の目立つ位置に貼ってください。

\*注意シールは施主様に安全に使用していただくために必要です。

## 使用上のご注意

- ・部材の変形・破損の恐れがあるため、ボールをぶつけるなどの強い衝撃を加えないでください。また、ぶら下がったり、寄りかかったり、フェンスに雨具、洗濯物、布団等を乗せないでください。
- ・風速・風向きによっては、電線などと同様に風切り音が発生することがあります。